

(第3種郵便物認可)

# 空き家改修、千種高生が参加

## 住民交流拠点に4月完成目指す

千種高校（兵庫県千種町千草）の2年生9人が、地域の拠点として改修が進む地元の空き家で、リフォーム作業に精を出した。内壁にしっかりと塗りを、壁にこびりついたカビを除去。奇麗になった内装に、満足そうなお顔を浮かべた。

（村上真宏）

### 地域おこし協力隊員を支援

**栗 穴** 作業したのは同高の近くの千種町商店街にある、5年ほど空き家だった築46年の民家。地域おこし協力隊の広重希美さん（31）と同町鷹巣IIが借り受け、地域の活動拠点として改修に取り組む。図書や自習のスペースを設けるほか、ワークショップや喫茶を通じて住民がつながる場所を構想し、4月オープンを目指す。

広重さんが同高に手伝いを依頼し、体験学習授業を選択する9人が出向いた。しつこい塗りでは、こぼれ

の上で材料をこねるように伸ばした後、壁に塗りたくった。本棚として使う家具は、水性塗料を塗る際は、むらが出ないように、慎重にはげを動かした。

長谷川仁さん（17）は「自分たちが携わることのできる地域の人が集まってうれしい。居場所になれば」と期待を寄せた。

広重さんは「いろいろな人が無理なく過ごせる場所にした。手伝ってくれた高校生たちには完成後にも立ち寄りもらいたい」と話した。



空き家の改修作業に汗を流す千種高校の生徒ら＝兵庫県千種町千草